



Antonín Dvořák Stabat Mater
Tokyochor

A・ド・ヴ・オルザーグーク 「スター・バト・マーテル」

字幕付き

指揮：前田幸康

ソプラノ：隱岐彩夏

アルト：寺谷千枝子

テノール：藤井雄介

バス：大山大輔

管弦楽：東京KMG管弦楽団

お問合せ

東京合唱団事務局：

TEL 090-1701-3438

FAX 03-3395-2546

e-mail: tokyochor@gmail.com

<http://tokyochor.jp/>

紀尾井ホールチケットセンター：

TEL 03-3237-0061

2017年11月11日[土]

開場13:30 開演14:00

紀尾井ホール

5,000円（全席自由）

学生：1,500円（当日学生証提示で1人1枚購入できます）

東京合唱団演奏会

指揮：前田 幸康

国立音楽大学卒業。チエロを小沢弘、黒沼俊夫、小野崎純の各氏に師事。N響、日フィル等のオーケストラでフリーランチエリストとして活躍し、東京ゾリスト等の室内楽にも力を注ぐ。現神奈川フィルハーモニー交響楽団の前身であるロリエ管弦楽団を金子登、前田幸市郎と設立し、初代チエロ第一首席奏者を務める。

1973年に渡欧し、Prof.マルティン・オースターハークに師事。1974年1月よりフライブルク市立交響楽団のメンバーとなる。前田幸市郎から指揮の指導を受け、1990年以来、日本において活動をしている。W.A.モーツアルト「レクイエム」、J.G.モーツアルト「ミサソレムス」(日本初演)、グラウンのオラトリオ「イエスの死」(日本初演)、ブライムス「ドイツ・レクイエム」、J.S.バッハ「ミサ曲口短調」「ヨハネ受難曲」、フォーレ「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「パウロ」、ドヴォルザーク「レクイエム」、ブツチーニ「グロリアミサ」、ヴエルディ「レクイエム」等を東京合唱団の音楽監督として指揮する。1985年よりプロアルテ・カンマー・オーケストラ・フライブルクの首席チエリストを務めた。同年にフライブルク市よりカンマー・ズイカーの称号を贈られ、1998年には国際文化交流功労賞メダルを同市より授与された。2009年には日本国外務省の国際文化交流功労賞を受賞。元上野学園大学弦楽部会主任教授。

A.ドヴォルザーク

「スター・バト・マーテル」

Antonín Dvořák Stabat Mater

Tokyochoir

字幕付き

ソプラノ：隱岐彩夏

岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士、博士後期課程修了。現在同大学音楽学部声楽科助手。2016年第85回日本音楽コンクール声楽部門第一位。岩谷賞(聴衆賞)、E.ナカミチ賞受賞。2014年度三菱地所賞受賞。2009年第20回友愛ドイツ歌曲コンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。声楽を佐々木正利、朝倉蒼生、秦貴美子、寺谷千枝子の各氏に師事。二期会会員。<http://ayakaoki.com/>

メゾ・ソプラノ：寺谷千枝子

ドイツ・ブレーマーハーフェン歌劇場とソロ専属契約を結び、「ばらの騎士」のオクタヴィアンでデビュー。以後ヨーロッパ各地の歌劇場で活躍。また世界的ブームとなったグレツキの交響曲第3番「悲歌のシンフォニー」を世界各地で初演。日本でもボッセ、フルネ、インバル、デュトワ、チョン・ミュンファン、小澤征爾、若杉弘、大野和士ら著名指揮者と共に演じた。役作りと音楽の読みの的確さ、安定した歌唱は、常に高い評価を得ている。

テノール：藤井雄介

大分県出身。広島大学教育学部音楽科卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院音楽研究科修士課程および博士後期課程修了。バッハ「ヨハネ受難曲」の福音史家およびテノールソロ、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、モーツアルト「レクイエム」など、主に宗教的声楽作品のソリストを多数務める。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校非常勤講師。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。

A.ドヴォルザーク 「スター・バト・マーテル」FAX用チケット申込書

FAX送付先 03-3395-2546

以下のように
チケットを
申し込みます。

(フリガナ)

お名前

ご住所

Mailアドレス

枚

お電話・
携帯電話

紀尾井ホール
<最寄駅>

- 四ツ谷駅(JR線・丸ノ内線・南北線)麹町口 徒歩6分
- 麹町駅(有楽町線)2番出口 徒歩8分
- 赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)D出口 徒歩8分
- 永田町駅(半蔵門線・有楽町線)7番出口 徒歩8分

